

2003.02.28：平成15年度 予算等審査特別委員会（第3日目）

委員長

ただいまから予算等審査特別委員会を開会いたします。

それでは、これより質疑を行います。

まず、昨日に引き続き、第15号議案平成15年度仙台市一般会計予算第1条歳入歳出予算中、歳出第3款市民費ほかについてであります。

民主フォーラムから発言予定の方は、質疑席にお着き願います。

池田友信委員

それでは、市民費についてお伺いしますが、さきの本会議の中で、先輩であります小池議員が32年の議員活動の総括として文化活動について質問されました。その答弁について掘り下げてお伺いしたいと。特に美術館構想についてであります。私も以前取り組んできた経過がありますし、平成元年からこの構想については、議会側としても、あるいは当局としても論議をした経過があります。これについては、教育局が所管のようでありまして、あわせて文化活動については後ほど教育費の中で一括してお伺いすることにして送りたいと思っておりますが、その辺の進め方について委員長の御了解をいただきたいと思っております。

それでは私の方から、本会議でも質問いたしました、仙台市のスポーツ振興基本計画に伴う件について、絞りまして御質問させていただきます。

近代日本の中で、欧米諸国の先進的体育スポーツに対して、日本もこれは強化しなければならないと、明治維新新政府が政府の方針として、日本国民の体育スポーツの振興を広めるといって学校を中心に日本国民の体育スポーツ振興策に取り組んできた100年の経過があります。この流れにおいて、平成10年9月、文部省がスポーツ振興計画なるものの中で、今までの進め方についてももう一度振り返りながら、新しい国民の体育スポーツについていろいろ取り組まなければならないという方針を打ち出されたわけでありまして、体力、年齢、種目、目的に関係なく、国民がだれでも、いつでも、どこでも楽しめる社会を目標に進めようという形で、総合型地域スポーツクラブを全国的に展開するという方針のもとに、全国各地で総合型地域スポーツクラブについて見直し、あるいは取り組んでいくという形で進めておるわけでありまして、それを受けて、仙台市も平成14年10月に仙台市スポーツ振興基本計画なるものの策定をされたわけでありまして。

この辺についていろいろお伺いしたいと思っておりますが、まず一つは、今まで取り組んできた主管的な窓口の教育局スポーツ課を市民局に移管をして進めてい

こうという形ではありますが、市当局として、行政側としての所管される役割分担についてお伺いしたいのであります。4月に教育局スポーツ課が市民局に移管されて、市民局での体制や事務内容についてはどういうふうになっていくのか。あるいは、教育局に残るものはどのような業務があるのか。まず業務に対する役割分担について、わかりやすく御説明をいただきたいと思っております。

スポーツ課長

スポーツ課の市民局への移管後の体制につきましては、スポーツ企画課とスポーツ交流課の2課体制となります。

スポーツ企画課はこれまでのスポーツ課の業務のほとんどを引き継ぐことといたしておりますが、スポーツに係る施策の総合的な企画・調整、スポーツ施設の整備に関する事などが主な業務となります。

また、スポーツ交流課につきましては、国際スポーツイベントの招致及び開催、総合型地域スポーツクラブに関する事などが主な業務となります。

なお、学校施設開放につきましては、教育局生涯学習課が業務を担当することとなります。

池田友信委員

企画の関係が中心になるわけですが、仙台市のスポーツ振興計画の重点的な背景の考え方として、総合型地域スポーツクラブの創設が非常に重要な課題になるわけではありますが、総合型地域スポーツクラブの目指す方向。今、こういう大きな柱を立ててやろうとして、いわば、これは大きな転換期であります。どんな形を目指していくのかということについて理解がされないと、その方向について非常に戸惑う部分があると思っておりますが、まずどんな方向を目指していくのか、わかりやすく御答弁いただきたいと思っております。

スポーツ課長

既にスポーツ連盟の研修会等でも総合型地域スポーツクラブにつきましてはPRをしているところでございますが、平成15年度から本格的に設立の準備に取り組ましまして、16年度にはモデルクラブを設立したいと考えてございます。

その範囲でございますが、基本的には中学校区を考えてございます。また、そのモデル地域の選定につきましては、スポーツ団体等の関係者による準備委員会を設置いたしまして、自主的に決定していただくことが望ましいと考えてございます。

池田友信委員

いわば、そういう方向は地域型ですから、地域で試行錯誤する中で今進もうとしておりますが、目指す形、モデルを早く設置して、こういう形で臨んでいくんだということを具体的に示していく中で展開しないとなかなか難しいと思いますので、早急にモデルを設置されて具体的に進めていただきたいと思います。

次にお伺いしますが、地域総合型を進めていくためには、市全体はもとよりありますが、区ごとの推進体制が必要だと思えます。この辺について、推進していくにはどんな体制を考えておられるのか、御答弁をお願いします。

スポーツ課長

総合型地域スポーツクラブの立ち上げに当たりましては、全体的な構想づくりを各団体とも協議しながら早急に行ってまいらなければならないものと考えてございます。市全体といたしましては、スポーツ連盟に設立協議会を設置いたしまして、総合的な指導者養成やマネジメントの講習会などの業務を行っていただくことといたしております。

また、区のレベルにつきましても、区スポーツ協会が中心となって、さらに身近なスポーツクラブに関する事例研究など、必要な講習を行っていくことが望ましいものと考えてございます。

池田友信委員

国の方針は、いつでも、どこでも、だれでもが自由にいろんな形でスポーツを楽しめるということを目指しておりますから、画一的なものであってはならないし、地域の特徴を十分生かして、地域の中で基本的なものはやりながら、具体的には地域性をより発揮できるような進め方をやっていかないと、今の地域の状況においてもそれぞれ格差がありますし、いろんな形で特徴があります。特徴を崩さずに、地域のよりよい実例を研究できるように進めていくことが必要だと思えますので、その辺についてぜひ十分御配慮をいただいて展開をしていただきたいと思えます。

そこでお伺いするんですが、より具体的に進めるに当たっては、総合型スポーツクラブを進めていく中で、区ごとにたくさんあるスポーツ団体が一つの考え方にまとまって、そういう方向に行こうじゃないかということに対する展開計画をみんなで確認し合って、そして、より進めていくためのセンターが必要だと思えますね。今はほとんど各団体の事務所はあります。しかし、区ごとのセンターというものは現状の中で不整備な状況にあると思えます。したがって、そういう意味で事務的な機能を区ごとに、例えば体育館の中で整備

をされていくということで考えていかないと、それぞれの各スポーツ団体は、団体の事務所では考えるけれども、種目を超えて、あるいは団体を超えて一つにまとまって、そして仙台市の目指すスポーツ振興策にみんなで取り組もうやという形になるためには、時間と労力と理解を進めるための努力が必要だと思います。そのセンターというものが今は非常に薄い状況になっております。区の体育館の中にそういうセンターを機能させるということが必要ではないかと思うんですが、いかがですか。

スポーツ課長

区スポーツ協会の事務局は、区の体育館事務室等に設置していただいております。宮城野区につきましては、区体育館が整備されていないことから、若林区の勤労者体育館に設置いただいております。今後、総合型地域スポーツクラブの育成など、区スポーツ協会が担う役割も重要になってまいりますことから、センター的な機能が必要であると認識はいたしております。しかしながら、体育館のスペースの関係などもございますので、事務局機能が十分発揮できるような環境づくりを工夫してまいりたいと考えてございます。

池田友信委員

現在の体育館では、宮城野区には体育館がありませんから論外であります。したがって、若林の体育館に事務所を間借りして肩身の狭い思いをしているいろいろなやっているわけです。では、ほかの体育館はどうなのかというと、青葉区にしても、泉区にしても、一応はあるにしても、事務的な連携などをするに当たっては、離れているし、あるいは、そういう形でこれから仙台市の100年の……、いや50年、100年かかるかもわかりません。日本のスポーツ振興策の大転換に対して、具体的に中心的な役割を果たす人たちのセンターとしては、間借りの、肩身の狭い思いの状況の中でやっている。電話をかければ、余り電話をかけるなど。電話が入ってくるんだから余り使うなどか、携帯電話でやりなさいとかというような状況では、仙台市がこの方針を出して、スポーツ振興策を展開するに当たっての運動展開が本当にできるのかと私は感じるわけであり。したがって、総合型地域スポーツクラブを進めていくために、団体の共通した理解と連携を進めていくということが非常に重要だと思いますが、その辺のあり方についての考え方、何かお持ち合わせがありますか。

スポーツ課長

各区のスポーツ協会は平成9年度に設立されてございます。また、全体の連絡調整に当たる組織といたしまして、平成10年度には仙台市スポーツ連盟を設

立いたしまして、各団体の調整役を担っていただいているところでございます。しかしながら、身近なスポーツへの関心が高まってまいったことなどから、機能の充実が求められておりますので、今後、その機能が十分発揮できるよう指導、育成してまいりたいと考えてございます。

池田友信委員

今、スポーツ連盟という形の話がありましたが、仙台市体育協会、それから仙台市の学区民体育振興会連合会、仙台市レクリエーション協会、仙台市体育指導員協議会、そして、区スポーツ協会の連絡協議会と、五つの団体が包含されたのがスポーツ連盟でありまして、このスポーツ連盟の会長は、御案内のとおり藤井市長であります。したがって、包含された組織を今後どんな形で強化をしていくかと。ここの強化いかに、この展開が非常に充実するか、本当に実るかどうかのかぎを握っていると思うんですが、これに対する取り扱いあるいは支援体制はどんな形を考えているのか、お伺いします。

教育長

仙台市スポーツ連盟は、従来から行ってまいりましたスポーツ団体の連絡調整のほか、総合型地域スポーツクラブの立ち上げに際しまして、指導者の育成、あるいは各クラブのマネジメントに係る研究機関としての役割を担うなど、さらに積極的な事業展開が望まれてございます。このことから、NPO法人化の取得に向けた準備が進められているところでございます。

本市といたしましては、スポーツ連盟の事務局体制強化のための財政的支援や情報の提供、関係機関との連絡調整などを行いながら、法人化に向けた取り組みを支援してまいりたいと考えてございます。

池田友信委員

最後にお伺いしますが、市長は仙台市のスポーツ振興策として元気プランを出して、各スポーツ団体よ、協力してくれという形で方針を出しております。受ける連盟の代表も藤井市長でありまして、市長の決意、姿勢が大きなかぎを握ると思いますが、仙台市の100年あるいはそれ以上の大計のスポーツ振興策について、市長の御決意をお伺いして終わりたいと思います。

市長

スポーツは、かつての競技をする人のスポーツから今では生活の一部にまで普及をしております。底辺がこれだけ一般的に拡大をいたしております。そうした日常性を持つスポーツというのは、市政におきましても大きな位置づけを

与えなければならないということで、すべての市民を対象とするスポーツ振興計画をつくり上げているところでございます。

一方、その組織運営でございますけれども、市内の地域的あるいは種目別の各種のスポーツ団体がございます。これらの統括的な役割を持つ仙台市スポーツ連盟でございますが、これまでの調整、連絡的な機能に加えて、最近大きく注目されております総合型地域スポーツクラブ、この新しいスポーツ基盤をつくり上げるために、指導者の育成やクラブマネジメントの研修を行ったりと極めて主体的な動きをしていかなければならないという任務も加わりましたので、私は連盟の会長といたしましても、また市長といたしましても、スポーツに対する意気込みを十分に持っているつもりでございます。そのスポーツ連盟の独立性に関して、今NPO法人の取得に対して特別の組織を設けて努力をし、早い時期に法人化を目指し独立した機関にして、そして委員の御質問にありました、さまざまな分野において自立を図っていきける、主体的な活動が図れるような体制を市内全域にわたってつくり上げていきたいと考えているところでございます。